

山形県勢の活躍

BUDAPEST 2023

WORLD ATHLETICS CHAMPIONSHIPS

2023年8月19日～27日

現地リポーター 堀江 昭浩（山形陸上競技協会副会長）

齋藤選手、円盤投に出場！



齋藤真希選手（東海大大学院・鶴岡工高卒）は、大会2日目、午前9時からの予選A組に出場しました。

1回目	F
2回目	5 3 M 1 4
3回目	5 3 M 2 0

A組 19位

という結果でした。
決勝進出はならなかったものの、日本代表の世界陸上最高記録を更新する記録でした。



体格がはるかに大きい諸外国選手に交じってベンチで集中力を高め、サークル付近で動きを確認する姿は普段通りです。

日本選手権保持者としての本来の投げを発揮するまでにはいかなかったようですが、コーチとやりとりをしながら、堂々とした試合でした。

私が日本を経ってから、初めて発声した日本語は、「齋藤真希、頑張れー！」3回の叫びとなりました。

選手と共に世界の舞台へ！



現地に応援にかけつけた堀江昭浩副会長（左）と
林陵平コーチ（右）

選手をサポートする立場として、世界で活躍する本県出身の指導者を紹介します。

走高跳に出場した赤松諒一選手の指導に当たる林陵平コーチ（東根市出身 上山明新館高卒）です。

岐阜大学時代から赤松選手の指導にあたっています。今大会では予選から安定したジャンプを続け、見事8位入賞を果たしました。